



講師の先生をお招きし、自分の生き方にかかわる学びを深めました！

～ 「13歳の自律教室」「マナー講座」そして「高校説明会」 ～

「13歳の自律教室（対象：1年生）」

9月22日(水)に、現役警察官及び県教委の職員にお越しいただき、1年生を対象に香川県教育委員会主催による「13歳の自律教室」を実施しました。講話の内容は、次の2点をねらいとするものでした。

- ① 来年度、14歳という刑事責任が問われる年齢を迎えようとする中学1年生の時期に、問題行動と法律との関係を正しく理解させ、子どもたちの規範意識を一層高めること。
- ② 自分の意志によらず他者（友達、教員、家族、その他関わりのある人）からの指示、命令で行動する「他律」から、自分で自分の行いを規制したり、自分の立てた規範に従って行動したりする「自律」へと行動が変容していかなければならない年齢になるという自覚をもつこと。

話の中で、SNS上での実際に起こったトラブルの事例をもとに子どもたちは自分なりに考えながら、**悪口の書き込みや写真の無断掲載の法的な問題点や、そうした行動によるその後の社会的及び法的な制裁等を具体的に知り、軽はずみな行為の恐ろしさについて真剣に学ぶことができました。**



「マナー講座（対象：2年生）」

9月24日(金)に、キャリア教育の一環として、NTT西日本のグループ会社から講師を派遣いただき、2年生を対象に「マナー講座」を行いました。これは、職場体験学習を実施する前に、挨拶の仕方、振舞、電話対応等の社会人として身に付けておくべきマナーを学び、来るべき体験学習に備えようとするものです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き、実際に職場に受け入れてもらっての体験学習は実施しませんが、来年度、高校入試を迎えるなど、義務教育の終了を間近に控えた2年生にとって、この時期に自分の振舞について見直し、正しい所作等を学ぶ機会が貴重だと考えます。マナーの意義、身だしなみ、表情、態度、言葉遣い、話し方・聞き方等、この日に学んだことは、日々の学校生活にもつながる内容ばかりであり、**普段の学校生活を大切にすることが、そのまま社会人としてのマナーにつながる**と改めて実感しました。



このように外部から講師の先生をお招きして、日頃から接している私たち教員以外の話を聞く機会は、子どもたちにとっては**とても新鮮であるとともに、その内容には説得力があります**。講話拝聴後の子どもたちの感想を聞くと、**早速実践してみようとする意識の高まり**が感じられました。

今後、10月及び11月には、**3年生及び保護者の方を対象とした「高校説明会」**が実施されます。実際にその学校で勤務する高校の先生から直接話を聞くことのできるこの機会が、3年生の**進路決定に向けた緊張感を高め、夢実現に向けた学習意欲を喚起すること**と期待しています。

コロナ禍の中ではありますが、感染症対策を講じつつ、こうした外部の方々と接する機会も大切にしながら、子どもたちの知識や意識、スキル等を高めていきたいと考えています。